

わたり社協だより

社会福祉法人 巨理町社会福祉協議会

巨理町字旧館60-7 TEL 0223-34-7551 FAX 0223-34-7552 文責 社協広報部会

No.114



トリコロキューブ



リングキャッチ



四字熟語カルタ

ニューススポーツ等体験会

あづまっせ助成事業を受けている団体を対象に、本会で貸し出しをしている『ニューススポーツ等のレクリエーション用品を体験する会』を6月14日（金）に行いました。

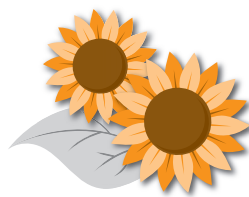
当日は様々なニューススポーツを体験していただき、サロンでの活用方法等を学んでいただきました。

巨理町社会福祉協議会では、様々な方が一緒に楽しめるニューススポーツ用具の貸し出しを行っています。詳細についてはお気軽にお問合わせください。
(☎ 34-7551)

(関連記事 7 ページ)

目 次

新会長の挨拶	2
役員異動のお知らせ	2
ミニふれあいのまちづくり推進事業	2
社協会費納入のお願い	2
令和元年度事業計画	3
令和元年度予算のあらまし	3
平成30年度事業報告、平成30年度決算	4.5
さざんかの会	6
キャップハンディ体験	6
まもりーぶ	6
生活支援コーディネーター佐藤寛子の「今 この人に会いたい」	7
あづまっせ	7
運転ボランティア募集	7
24時間テレビ	8
福祉に関するポスター・標語募集	8
福祉就労フェア	8
生活相談所のお知らせ	8



新会長の挨拶



この度の社会福祉協議会役員改選に伴い、理事の皆様のご賛同を賜りまして、会長の職を務めさせていただくこととなり、職務の重大さに身の引き締まる思いであります。

前川村会長の後を引き継ぎ、もとより微力ではありますが、これまでの経過を踏まえ、今後とも巨理町社会福祉協議会の円滑な運営を図るとともに地域福祉の充実と発展のために、誠心誠意取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて東日本大震災から八年が過ぎ、一応の落ち着いたところを取り戻しつつあるところではありますが、近年の少子・高齢化が進展する中、共働き家庭の増加と核家族化、さらに人口減少が加わり、子育ての孤立化や一人暮らし又は高齢者のみの世帯の増加に伴い、地域でのつながりの希薄化など地域社会を取り巻く環境が大きく変化しております。このようなことから、今こそ地域での支え合いの取り組みは大変重要であり、社会福祉協議会の役割はますます増大していくものと思われまします。

社会福祉協議会は、町民のすべての方々が「安全で、誰もが安心して暮らせる、よりよい地域づくり」の実現を目指し活動して参ります。さらに介護保険事業のサービス提供、巨理町からの受託事業を推進し、地域福祉の推進を図って参ります。しかしながら、これらの事業推進には、ボランティアを含めた町民の皆様が存在が欠かせないものであると考えております。

今後、町民の皆様の信頼と期待に応えるために、地域の福祉ニーズに常に傾聴するとともに、地域に密着した活動が展開できる「巨理町社会福祉協議会」を目指し、役職員一丸となつて地域福祉の向上に努めてまいりますので、皆様方の暖かい支援とご協力をお願い申し上げます、会長就任にあたっての挨拶いたします。

巨理町社会福祉協議会
会長 小齋 芳夫

みなさんの地域づくりのお手伝いをします

ミニふれあいのまちづくり推進事業

本会では、地域の皆様に社会福祉への理解と関心を高めていただき、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進するために、行政区を指定した助成金を交付しています。

「ミニふれあいのまちづくり推進事業」では昨年度指定を受けた3行政区に加え、今年度新たに5つの行政区が活動をスタートしました。

5月31日(金)に本会にて推進会議を開催し、指定された行政区に対して助成金を交付いたしました。指定期間は2年間で、この事業をきっかけに地域住民同士の交流が継続して実施され、さらに発展することがねらいです。

指定を受けた行政区のみなさん、2年間よろしくお願いいたします。

◆ミニふれあいのまちづくり推進事業

平成30年度指定 (平成30～令和元年度)	上町北・新町・鷺屋
令和元年度指定 (令和元～令和2年度)	上町南・下茨田北・桜小路西・上郡・藤

役員異動のお知らせ

本会の役員異動がありましたのでお知らせいたします。

今回新たに就任された皆様には、地域福祉活動推進のため、ご協力をお願いします。

また退任された皆様には、本会の運営にご協力いただきありがとうございました。

就任

小齋 芳夫 (学識経験者)

理事

菊地 清 (町身体障害者福祉協会副会長)

退任

川村 勝司 (学識経験者)

理事

水戸 文三 (元町身体障害者福祉協会会長)

社協会費納入のお願い

社会福祉協議会では、みなさまからの会費を財源として「高齢者福祉」「障がい者福祉」「児童福祉」等、さまざまな福祉活動を行っております。

今年度も、昨年度に引き続きこれまでの地域福祉事業に加え、震災被災者の支援活動をより充実したものにするために、会員の皆様に会費の納入をお願いすることになりました。

つきましては、会員の皆様には趣旨をご理解のうえ、福祉協力員(行政区長)が訪問いたしました際は、会費納入にご協力くださるようよろしくお願いいたします。

普通会費 1,000円
特別会費 2,000円以上
賛助会費 10,000円以上/□

令和元年度 事業計画

基本方針

東日本大震災から8年が経過し、被災された方々は、公営住宅や新たな地域への転居などお住いの確保が出来たものの、新しい環境においてコミュニティづくりと互助・共助による地域の支え合いの体制づくりが必要とされています。また、地域においても家族形態の変化や高齢者社会の進行などに伴い、支え合いの体制の基盤となっていた地域社会のつながりの希薄化がすすみ、生活課題が複雑多様化しています。

こうしたなかで本会では、地域における社会福祉の向上のため「地域に暮らす住民の方々こそが、一番の地域福祉の実践者」であるべきことを基本として、住民の皆様そして行政をはじめ関係機関と協力しながら「安全で、誰もが安心して暮らせる、よりよい地域づくり」を目指して活動してまいります。

また各種介護事業や介護支援事業につきましては、介護保険の理念に基づき、可能な限り住み慣れた居宅で生活ができるように利用者の自立支援や状態の悪化の防止を促進するため、計画的、総合的に支援を継続し、「高齢者の自己決定権の尊重」「自分らしい生活の維持」を基本としたサービスを提供いたします。

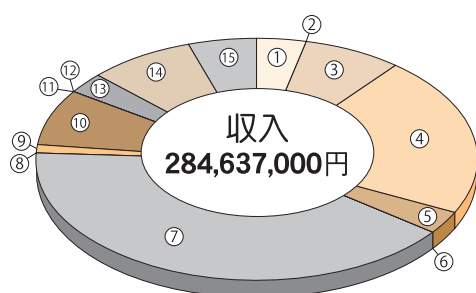
町からの受託事業（亘理町ほのぼの園・亘理町ゆうゆう作業所の管理運営等）につきましては、利用者の健全と安心・安全を基本とし、一人ひとりの人権を尊重したその人らしい豊かな人生を自己実現できるように支援してまいります。

重点目標

1. 東日本大震災の被災者や福祉問題を抱える世帯に対し地域住民、福祉協力員（行政区長）、民生委員、ボランティア等の連携による福祉サービスの運営及び地域福祉ネットワークづくりを拡充します。
2. 高齢者、障がい者等の地域社会への参加を促し、また児童・青少年の健全な成長を図るために、活力と生きがいのある環境づくりに努めると共に、地域の方々と協力し地域福祉を推進します。
3. 地域住民に社協の活動への理解を深めていただくため、あらゆる広報活動に努めます。
4. 社協運営の強化を図るため、財源確保並びに拠点づくり、職員体制の整備に努めます。
5. 介護保険制度や障害者総合支援制度等における、居宅介護支援事業者及びサービス提供事業者として、要介護者及び要支援者の支援を積極的に行います。
6. 大規模災害発生時には、災害ボランティアセンターの設置・運営に努めると共に、他の地域での大規模災害発生時の支援体制を強化します。

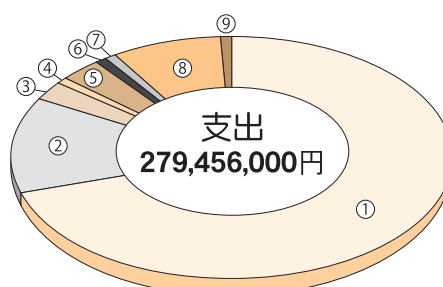
令和元年度 予算のあらまし

一般会計



① 会費収入	10,940,000円
② 寄付金収入	6,000円
③ 経常経費補助金収入	20,677,000円
④ 受託金収入	60,546,000円
⑤ 貸付事業収入	8,393,000円
⑥ 事業収入	250,000円
⑦ 介護保険事業収入	115,553,000円
⑧ 老人福祉事業収入	150,000円
⑨ 就労支援事業収入	2,750,000円
⑩ 障害福祉サービス等事業収入	21,364,000円
⑪ 受取利息配当金収入	33,000円
⑫ その他の収入	340,000円
⑬ 積立資産取崩収入	7,300,000円
⑭ サービス区分間繰入金収入	22,405,000円
⑮ 前期末支払資金残高	13,930,000円

① 人件費支出	197,098,000円
② 事業費支出	35,770,000円
③ 事務費支出	6,566,000円
④ 就労支援事業費支出	2,750,000円
⑤ 貸付事業支出	8,543,000円
⑥ 共同募金配分金事業費支出	1,930,000円
⑦ 助成金支出	2,389,000円
⑧ サービス区分間繰入金支出	22,405,000円
⑨ その他の活動による支出	2,005,000円



事業報告

ボランティア活動の推進

- * ボランティアの登録
19団体 637名 個人 4名 計641名
- * ボランティア育成援助
- * 福祉施設ボランティアの勧奨 登録者368名
- * 福祉施設ボランティア介護研修会 26名参加
- * 福祉施設ボランティア活動説明会・研修会 200名参加
- * 各種ボランティア研修会への派遣
- * ボランティア活動の推進

福祉施設ボランティア説明会



児童福祉活動

- * 小学校入学祝品贈呈事業 272人
- * 新生児紙おむつ券・ミルク券贈呈事業 延185人
- * 家庭支援事業「サンタがウチにやってくる」
母子父子世帯から預かったプレゼントにお菓子を添えて届ける 延7世帯
- * 福祉に関するポスター・標語募集
ポスター 小学生6点・中学生4点
標語 小学生40点・中学生97点
- * 福祉体験学習会の開催（キャップハンディ体験学習）
延624名
逢隈小学校（3, 4, 5年生）、荒浜小学校（1, 2, 3, 4年生）、吉田小学校（3年生）、高屋小学校（3, 4年生）、長瀬小学校（3年生）

キャップハンディ体験
（手話教室）

障がい者福祉活動

- * 福祉車両貸出サービス 延276回
- * 仙台地方身体障害者体育大会 17名参加
- * 身体障害者居宅介護事業等 87件
- * 移動支援居宅介護事業 13件
- * 地域活動支援センター「巨理町ほのほの園」の管理運営
開設日 延283日 利用者数 2,609人
- * 就労継続支援B型「巨理町ゆうゆう作業所」の管理運営
開設日 延235日 利用者数 2,301人

仙台地方身体障害者
体育大会

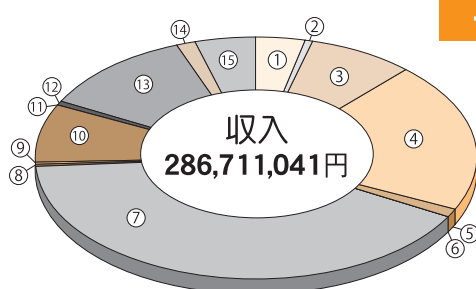
その他

- * 24時間テレビチャリティ街頭募金
募金実績額 350,150円
- * 寄付の状況
指定寄付金 27件
1,222,139円

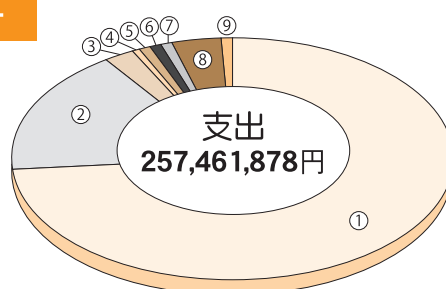
24時間テレビ
チャリティ街頭募金

平成30年度 決算のあらまし

一般会計



① 会費収入	10,795,200円
② 寄付金収入	1,222,139円
③ 経常経費補助金収入	22,302,327円
④ 受託金収入	57,844,114円
⑤ 貸付事業収入	2,782,883円
⑥ 事業収入	288,900円
⑦ 介護保険事業収入	117,378,940円
⑧ 老人福祉事業収入	155,100円
⑨ 就労支援事業収入	1,399,310円
⑩ 障害福祉サービス等事業収入	21,750,474円
⑪ 受取利息配当金収入	14,351円
⑫ その他の収入	1,748,810円
⑬ 積立資産取崩収入	32,786,691円
⑭ その他の活動による収入	3,770,071円
⑮ 前期末支払資金残高	12,471,731円



① 人件費支出	189,641,533円
② 事業費支出	43,103,063円
③ 事務費支出	5,656,643円
④ 就労支援事業支出	1,399,310円
⑤ 貸付事業支出	2,480,000円
⑥ 共同募金配分金事業費支出	1,941,540円
⑦ 助成金支出	2,302,089円
⑧ 積立資産積立支出	9,253,711円
⑨ その他の活動による支出	1,683,989円

平成30年度

地域福祉活動の推進

- * 亘理町社会福祉研修会 200名参加
- * ミニふれあいのまちづくり推進事業
平成29年度・平成30年度 新町中・神宮寺・北長瀬・榎袋
平成30年度・平成31年度 上町北・新町・鷺屋
- * 小地域福祉活動の推進
サロン活動費助成 47グループ 1,413,189円



亘理町福祉研修会

高齢者福祉活動

- * 紙おむつ無償配布 延2,498名
- * 介護者激励品の配布（消臭剤） 延206名
- * 高齢者寝具洗濯乾燥サービス 延138名
- * 家族介護教室 29名参加
- * 在宅介護者激励会 29名参加
- * ふれあい食事サービスの開催（11回） 延827名
- * 町長を囲んでの新年会 158名参加
- * 「愛のヤクルト」訪問サービス 延15,434名
- * 介護保険事業
居宅介護支援 2,250件 訪問介護 1,378件
福祉用具貸与 1,681件
- * 地域活性化ふれあいサロンの開催（12回） 延178名
- * 日常生活支援事業 訪問介護 41件



町長を囲んでの新年会

生活援護活動

- * 生活安定資金貸付 延7件
- * 高額療養費貸付 延9件
- * 生活相談所の開設 延51日 相談件数11件（11名）
- * 日常生活自立支援事業（まもりーぶ事業）
利用者5名・支援活動数延199回
- * 東日本大震災被災者支援活動
〔亘理ささえあいセンター「ほっと」の活動〕
復興支援コーディネーター
2名配置 活動回数 延96回
生活支援相談員
4名配置 活動回数 延4,799回
（個別訪問・高齢者安否確認・相談業務・サロン支援等）
生活福祉資金相談員
2名配置 活動回数 延べ134回
貸付相談対応件数 52件
償還指導等件数 82件

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘定科目	金 額	勘定科目	金額
流動資産	47,702,715円	流動負債	18,453,552円
現金預金	34,688,313円	事業未払金	14,594,134円
事業未収金	13,014,402円	職員預り金	3,859,418円
固定資産	236,961,556円	固定負債	31,591,351円
基本財産	1,000,000円	退職給付引当金	31,591,351円
定期預金	1,000,000円	負債の部合計	50,044,903円
その他の固定資産	235,961,556円	純 資 産 の 部	
土地	3,724,000円	基 本 金	1,000,000円
建物	937,146円	基 本 金	1,000,000円
構築物	1円	基 金	51,588,006円
車輛運搬具	3,187,586円	社会福祉基金	51,588,006円
器具及び備品	8,671円	国庫補助金等特別積立金	3,095,646円
貸付事業貸付金	2,391,077円	国庫補助金等特別積立金	3,095,646円
退職手当積立基金預け金	14,393,984円	その他の積立金	142,533,718円
退職給付引当資産	17,197,367円	財政調整積立金	120,112,000円
社会福祉基金積立資産	51,588,006円	備品等購入積立金	1,273,000円
財政調整積立資産	120,112,000円	特別寄付積立金	13,777,771円
法人車輛備品購入積立資産	1,117,000円	支援金積立金	7,370,947円
介護保険車輛備品購入積立資産	156,000円	次期繰越活動増減差額	36,401,998円
特別寄付積立資産	13,777,771円	次期繰越活動増減差額	36,401,998円
支援金積立資産	7,370,947円	（うち当期活動増減差額）	11,142,568円
資産の部合計	284,664,271円	純資産の部合計	234,619,368円
		負債及び純資産の部合計	284,644,271円

.....ひとり暮らしのみなさんを応援します.....

さざんかの会 ふれあい 食事サービス

70歳以上のひとり暮らしの方を対象として、季節の行事やレクリエーションを行い、参加者全員での昼食会を開催しています。

4 月は全地区を対象に、亶理町出身で音楽療法士の渡邊望氏による「ビオラコンサート」で癒されました。ビオラの調べにうっとり、みなさん聞き惚れていました。

5、6 月は、折り紙を使った「傘」を作成しました。大小7枚ずつの折り紙を使って同じパーツを作り、立体的に仕上げていきます。久々に折り紙を折ったという方や、出来上がりを見て難しそうと話されていた方も、完成することができました。

この会は、多くのボランティアさんの協力で行われています。調理ボランティア、食改、運転ボランティア、お茶入れボランティア、民生委員児童委員に加え、4 月からは婦人会からもご協力をいただき、一緒に楽しんでいただいています。



次回予定 8月6日(火)A地区(亶理地区) 9月26日(木)B地区(吉田・荒浜・逢隈地区) 10月9日(水)A地区(亶理地区)

キャップハンディ体験

ー キャップハンディ体験ってなに？

ハンディ・キャップという言葉を入れ替えた造語で、「その人の立場に立って考える」ことを目的とした体験活動です。

高屋小学校

6月5日(水)
聴覚障害体験
(4年生9名)
協力
手話サークル33



手話サークル33さんによる手話教室

日常生活自立支援事業

まもりーぶ



主に在宅で一人暮らしをなされている高齢の方や、障害をお持ちの方で日常生活を送るにあたり、ご自身で判断することに不安がある方を対象にしたサービスです。専任の生活支援員が日常生活のサポートを行います。

本人の利用意思確認と調査等を行う為、利用まで時間がかかりますので、事前に電話での問合せをお願いいたします。

※サービスに関するお問い合わせは、亶理町社会福祉協議会（☎34-7551）までご連絡ください。

◆「まもりーぶ」でできること

利用援助サービス	福祉サービスの利用に関する相談・情報提供等 公共機関から送られてくる郵便物の確認、手続きのお手伝い
金銭管理サービス	家賃や公共料金のお支払いのお手伝い 生活費の支出（計画に基づいた金額をお届けします） 年金や福祉手当の入金の確認
書類等のあずかりサービス	契約している金融機関の通帳や印鑑等の保管

◆ まもりーぶ利用料金

基本料金	700円 / 1ヶ月	月額料金は毎月かかります。 サービス料金は、生活支援員がサービス提供した ときに関わる料金です。
サービス料金	500円 / 30 分	
書類等の預かりサービス	300円 / 1ヶ月	
サービス提供に関わる旅費	走行距離に応じる	
		1～5kmなし、5～10km150円

※このほか利用料徴収のため、金融機関が設定する口座引き落とし手数料がかかります。

※生活保護、市町村民税非課税世帯等は、申請によりサービス料金が免除になります。

生活支援コーディネーター

佐藤 寛子の『

この人に
今 会いたい!』箱根田西
佐藤 豊夫さん (82歳)

平成9年、定年を迎える60歳の時にC型肝炎を発症し、当時の成人病センター（現宮城県立がんセンター）へ2カ月半入院。主治医には、「とにかく風邪に気を付けるように」と念を押されたそうで、「家にばりいなくてねーんがわ…」と、ショックだった当時の気持ちを振り返ってくれました。

落ち込んでばかりいられないと始めたのが、「運動」。最初はウォーキングをしていましたが、より健康的になるために平成12年からは「ジョギング」をはじめたそうです。

「今はどこも悪いところはない！快適！」と力強く話す豊夫さん。震災で、避難を余儀なくされていた時も、ルートを変えて走っていたそうで、現在も自宅のある荒浜から生協までの道のりを毎日、往復45分ほどかけて走ります。

「畑仕事や家のことなど、とにかく毎日忙しくしている。走るのは毎日の日課。ただ居たって病気になる」と元気の秘訣を語ってくれました。

豊夫さんのペースについていけなかった私。「日々の継続は力なり。」を実感しました。



みんなであつまっせ!

ふれあいいきいきサロン あつまっせ

本会では、サロンを開催している団体や個人に対し助成する事業があり、本年度は43団体が登録しています。サロンごとに活動内容や回数はまちまちですが、地域住民相互の「つながり」「見守り」「助け合い」のきっかけができる楽しい「集いの場」として有効な場所になっています。

◎みなと会（本郷地区）

昨年度は隔月のペースで「曹洞宗復興支援室分室」の支援のもと開催していた「みなと会」。

支援が終わるにあたり、「これからも、このお茶飲み会を続けていきたい」という声が多く上がり、毎月第1金曜日に継続して開催することになりました。

初回となった6月7日（金）は和やかな雰囲気ゲームや歌が歌われ、お茶のみの際には、「コーヒーじゃなくてお茶の方がいいね」など、次回に向けて意見が交わされていました。これからの活動がどのように変化していくのか楽しみです。



◎ニュースポーツ等体験会

あつまっせ助成事業を受けている団体を対象に、本会で貸し出しをしている『ニュースポーツ等のレクリエーション用品を体験する会』を6月14日（金）に行いました。

団体の実状に合ったレクリエーションの参考となるよう、ひとつの品目に対して、複数の遊び方を説明し、実際に体験していただきました。参加された方からは「こうすれば、うちのグループでも出来るね」といった声も上がり、独自に考え出されたアレンジも意見交換されていました。

今後も各団体がサロン活動を無理なく行えるよう、様々な研修会等を企画し、活動の支援を行っていきます。

運転ボランティア
募 集

亘理町社会福祉協議会では、運転ボランティアとしてご協力いただける方を募集しています。何か地域の為にしたいけど、何から始めたらいいのかわからないと悩んでいる方、運転ボランティアとして活動を始めませんか？ 男女問わず募集中です。

活動内容等の詳細は、亘理町社会福祉協議会までお問合せください。（☎：34-7551）

福祉に関する ポスター・標語 募集

これからの地域福祉の担い手である児童生徒に福祉に関する理解とつながり、ささえあいのこころを育てることを目的に、ポスター・標語を募集します。

応募期間：令和元年 7 月 19 日（金）～ 9 月 13 日（金）まで

応募資格：町内在住の小中学生

応募方法：所定の応募様式により、在籍校を通して本会に提出

応募様式：テーマは自由。自分たちが考える福祉やボランティア活動に関するもの

- ◆ポスターの部 色彩は自由
大きさは45cm×30cm
～55cm×40cm
- ◆標語の部 A4の指定様式を使用
1人3点まで

表彰：優秀作品には賞状および副賞
後援：亘理町・亘理町教育委員会

24時間テレビ42 「愛は地球を救う」

「人と人～ともに新しい時代へ～」

本会では毎年24時間テレビチャリティーに参加し、皆様からの心温まる募金をいただいております。

昨年は350,150円もの募金が寄せられ、お年寄りや体の不自由な方のための支援や福祉車両等の贈呈、災害援助、地球保護などに使われました。

今年も、本会の役職員や、ジュニアリーダーが募金の協力を呼びかけますので、お買い物やお近くにお越しの際はご協力をお願いいたします。

日 時：令和元年8月24日（土）14:00～18:00
令和元年8月25日（日）10:00～18:00

会 場：ヨークベニマル亘理店

令和元年度亘理町 「障害のある方の福祉・就労フェア」

障害のある方が安心して働くために支援している企業（福祉サービス事業所）、相談支援事業所、当事者、宮城県障害者職業センター等が集まり、催し物を行います。

日 時：令和元年 8 月 2 日（金）13:00～15:00

場 所：悠里館3階視聴覚室ホール

対 象：町内在住の身体・知的・精神・発達障害にある方及び家族、町立中学校支援級または支援学校のお子さん及び家族、障害者の就労に関心のある方

※障害者手帳をお持ちでない方も参加可能です。

申 込：不要

実施内容

- 相談支援事業所の相談員と、支援学校を卒業して一般就労している方とのミニトーク
- 住化積水フィルム株式会社仙台工場で障害者雇用を担当している方によるミニトーク
- ハローワーク仙台によるミニセミナー
- 相談支援事業所による相談
- 就労移行支援事業所や就労継続支援、事業所等で作られた商品の販売
- 当日は手話通訳士を配置しています。

問合せ先：亘理町 福祉課 社会福祉班（☎34-1114）

主 催：亘理町障害者等地域自立支援協議会

生活相談所開設の お知らせ

悩みごとはありませんか？

困りごと、心配ごと全般についてお気軽にご相談ください。（専門的な相談の場合は他の機関をご紹介します。）



- ◆相談日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
- ◆時 間 9:00～12:00
- ◆場 所 生活相談所（社会福祉協議会事務所内）
- ◆相談員

民生委員児童委員	岡崎 正利（十文字村）
〃	古舘 義男（神宮寺）
〃	沼辺 和子（中原）
〃	菊地 正博（港町）
〃	一宮 嘉輝（中泉）
- 社 協 事 務 局 長 三品 尚

あたたかい善意ありがとうございました。

次の方々から寄付をいただきましたのでご紹介いたします。（平成31年 1 月 16 日～令和元年 7 月 15 日まで）

匿名（鷺屋区）	タオル20本	（社）アクティブサポート【（株式会社フローラ）様	180,000円
	ボールペン10本	亘理町グラウンドゴルフ協会様	4,200円
	ティッシュ20個	住吉区社会福祉協議会 ふらっと楽しむすみよし様（大阪府）	30,000円
大久保 加代子様（長野県）	20,000円	匿名（田沢区）	紙おむつ 4 袋
匿名（山元町）	10,000円	株式会社東和制作所様	7,206円
内海和子様（牛袋区）	500,000円	（株式会社サンベンディング東北設置の自動販売機による寄付）	